



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

磯田市長に2025年度予算要望書を提出し、市民の声を伝えました。

物価高や原発から暮らしを守り、命を守る



磯田市長に要望書を提出し懇談

12月25日、日本共産党中越地区委員会と長岡市議団は磯田達伸市長に2025年度予算要望書を手交し、市民の切実な声を届けました。懇談で市長は次のように応じました。

《要望項目(主なもの)》

1. 原発からの撤退と、再生可能エネルギーへの転換を
3. 福祉・教育・暮らし応援の市政に
4. 災害に強いまちづくりを
7. 非核・平和の長岡に

磯田市長の話

* 原発避難のしつかりしたシミュレーションが必要だ。一番大事なものが片付いていないのに、再稼働は議論すべきでないとし上げています。六方向への避難路は柏崎と刈羽のこと。長岡では川西から信濃川をどう越え

て避難するのか、基本的条件や環境が整ってから議論すべき。国に情報開示を求め、市民にしっかりと伝えていきたい。

* 市長選後、市内3病院長と懇談したが、軒並み医療経営危機になっていることが話された。医療制度がかしくなっていると思う。

* 学校給食は自治体単独では荷が重すぎる。国がやるべきだ。野党3党が無償化を掲げたのは共産党の粘り強い運動の成果だと思う。

* 支所地域の問題は今後の課題、検証していきたい。

* 中小企業支援は消費税など社会的問題に手をつけ、環境を変えることだ。単に「経営支援」でなく、自立的に商売が成り立つような取り組みが大事。

遠藤れい子の発言

長岡の医療を守るための力強い姿勢はありがたい。医療や介護の大変な現場の実態を調べ、適切な支援を願います。



遠藤れい子の笑顔でファイト

参議院選挙で日本共産党の躍進を！

- ・ 原発再稼働STOP!
- ・ 裏金事件の全容説明、企業団体献金の全面禁止
- ・ 防衛費拡大でなく、暮らし・教育・福祉の充実を

1月3日、晴れあがった青空の下で日本共産党長岡市議団と遠藤れい子前県議は新年街頭宣伝を行い、年頭の挨拶をしました。

参議院選挙で日本共産党の躍進を！物価高から市民生活を守れ！原発再稼働ストップなど訴えました。

柏崎刈羽原発再稼働の是非は県民投票で 「県民投票条例制定を求める請求署名」 長岡市選管に19,822筆を提出

1月6日(月)午前10時、長岡実行委員会は集まった署名簿 2,129冊、署名数 19,822筆を長岡市選挙管理委員会に仮提出しました。10月28日から62日間、多くの市民から署名をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

今後、選管での審査、知事へ提出と知事意見書、県議会審議となります。条例制定をめざし、さらに頑張りましょう。



1月6日、選挙管理委員会に提出